

# 専攻医募集

地域と連携した高度医療



公立大学法人

福島県立医科大学附属病院

Fukushima Medical University Hospital



後期研修管理委員会委員長  
(福島県立医科大学附属病院長)

## 鈴木 弘行

当院では、平成30年度からスタートした新たな専門研修において、19ある全ての基本領域で基幹施設としてプログラムを運用しておりますので、全ての基本領域で専門医を取得することが可能です。また、各プログラムでは、大学附属病院のほか、県内外の連携施設等と密に連携して研修を行うため、指導体制や専門医取得に必要な症例数の面でも充実した研修環境が整っており、各人にとって最適な研修計画を策定し、迅速に専門医資格が取得出来るよう配慮されています。

さらに、専攻医は、大学院・大学院研究生の併願が可能のため、安定した身分・処遇で働きながら、多くの専攻医が医学博士号(PhD)を並行して取得しています。このように、当院には、医師としての基礎を築く最適な研修プログラム、充実した施設・研修環境、優れた研究環境、優しく親身にサポートしてくれる先輩達が揃っており、優れたキャリアパスが創造できます。出身大学に関係なく、個人々の目標達成に向けて、スタッフ一同が全面的に支援しますので、多くの方に安心して当院での後期研修を選択していただき、専門研修プログラムにより目標とする専門医を着実に取得され、本県、そして世界でご活躍されますことを期待しております。

### 病院の特徴

#### 健康を支え、心温まる医療を実践

本院は、医科大学附属の総合病院として、39診療科・778床の施設を有し、先進医療の充実や診療体制の整備に努めております。こうした中、1日の平均入院患者数559名(令和2年度)、1日の平均外来患者数は、1,365名(令和2年度・入院中外来受診者を除く)を数え、県民の皆さまに広く利用されております。附属病院ではこれからも地域を照らし、多様化する医療に対する県民の皆さまの期待に応えてまいります。

### 診療科目

循環器内科/血液内科/消化器内科/リウマチ・膠原病内科/腎臓・高血圧内科/糖尿病・内分泌代謝内科/脳神経内科/呼吸器内科/漢方内科/腫瘍内科/総合内科/呼吸器外科/消化管外科/肝胆膵・移植外科/乳腺外科/小児外科/甲状腺・内分泌外科/甲状腺・内分泌内科/心臓血管外科/脳神経外科/整形外科/形成外科/産科/婦人科/小児科/小児腫瘍内科/眼科/皮膚科/泌尿器科・副腎内分泌外科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/心身医療科/放射線科/放射線治療科/核医学科/麻酔・疼痛緩和科/病理診断科/歯科口腔外科/救急科/リハビリテーション科

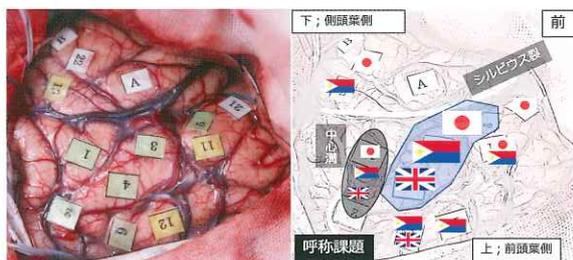
【医師数(常勤医師)】	<b>363名</b> (令和3年4月1日現在)	【一日平均入院患者数】	<b>559件</b> (令和2年度)	【一日平均外来患者数】	<b>1,365件</b> (令和2年度)
【救急車搬入患者数】	<b>2,188名</b> (令和2年度)	【ドクターヘリ出動件数】	<b>344件</b> (令和2年度)	【手術件数】	<b>5,940件</b> (令和2年度)

## Topics

福島で経験しませんか?

### 超高磁場術中MRI手術室と覚醒下手術で脳を守る (脳神経外科学講座)

覚醒下手術は、手術中に患者を覚醒状態にして脳機能評価を直接行い、機能を守りながら、病変を可能な限り切除する手術法です。真の意味で患者のQOLを守るためには、言語を含めた「高次脳機能」を如何に守るかが、脳神経外科の重要な課題であり、現代医学の挑戦です。我々は、言語はもちろんのこと、さまざまな高次の脳機能を守る覚醒下手術に取り組んで成果を挙げています。一方、高次脳機能は未だ未解明な部分が多く、こうした取り組みは、神経科学の発展にも大変貴重なものです。



マルチリンガル症例に対する覚醒下手術(左:術野写真、右:言語マッピング図)

さらに、本学には、超高磁場術中MRIと手術ナビゲーションを中核とする「インテリジェント手術室」が整備されています。術中MRIとは、文字通り手術室の中に設置されたMRIのことで、手術中にMRIを行います。従来は、外科医の目と経験だけが頼りでしたが、こうした技術革新により、正確で安全な「画像誘導手術」が可能になります。

脳神経外科学講座 藤井 正純

## 研修医プログラムの特徴

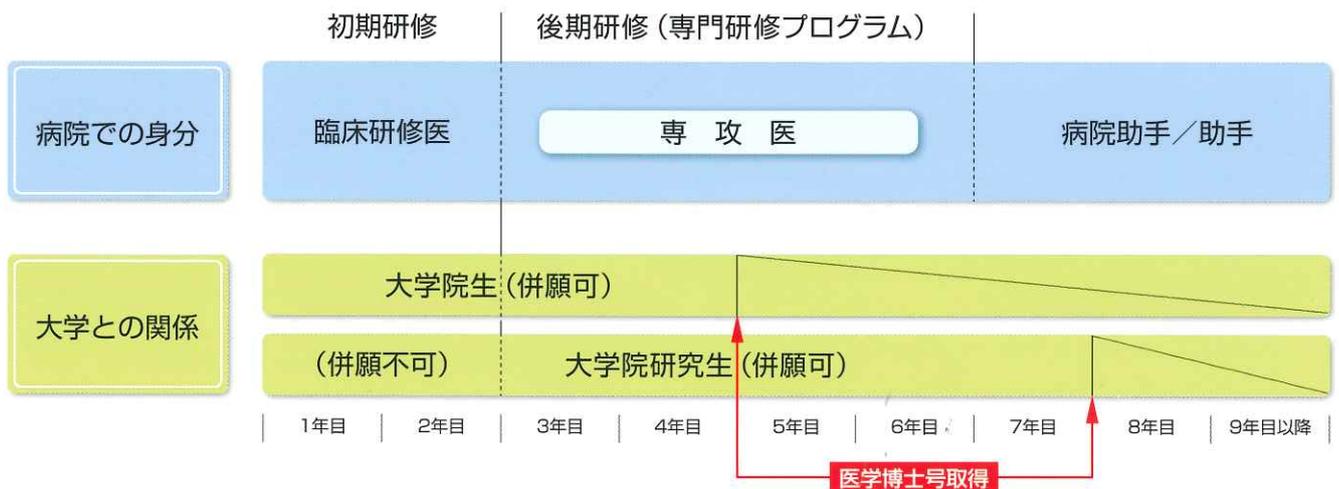
Fukushima Medical University Hospital

- 1 19ある全ての基本領域で基幹施設として専門研修プログラムを運用しています。
- 2 希望する専門医資格が取得できるよう、基本領域の各プログラム責任者等と相談の上、最適な研修計画に基づき研修を行います。
- 3 専門医資格取得に必要な症例・症状等を確保するため、当院と研修協力病院で研修を行います。研修協力病院は原則各学会の認定施設です。
- 4 大学院・大学院研究生の併願が可能であるため、安定した身分・処遇で働きながら、大学院教育を受けることで、より充実した専門研修が可能です。卒業時に医学博士号(PhD)を授与されます。
- 5 医療人育成・支援センターが卒前教育から卒後研修、生涯教育まで、一貫して医師のキャリア全般を支援していきます。

## 当院の研修制度の全体像

Fukushima Medical University Hospital

本学では初期研修期間中から大学院との併願が可能です。そのため、安定した身分・処遇で働きながら大学院教育を学べます。卒業時には医学博士号(PhD)が授与されます。



## Message

福島で研修しませんか?

### 福島の内科医療を支えたい

私は東日本大震災で被災し、現場での医師の働きに感銘を受けたことがきっかけで医師を志しました。本学を卒業後はどのような専門に進もうとも、そしてリソースの限られた環境でも活躍できる総合力のある医師を目指して離島県である沖縄で研修を行いました。



今年の春から本学でリウマチ膠原病内科医として、優しい指導医の先生方の元で貪欲に学ばせていただいております。膠原病診療というspeciality、内科医としてのGeneral mindを全力でサポートして下さる本学のプログラムのおかげで充実した専攻医ライフを送ることができております。

患者さんに寄り添い福島の内科医療を支えることができる、良き医療人を目指して精進していく所存です。

専攻医1年次(リウマチ膠原病内科) 吉田 周平





### 大学院アドミッションポリシー

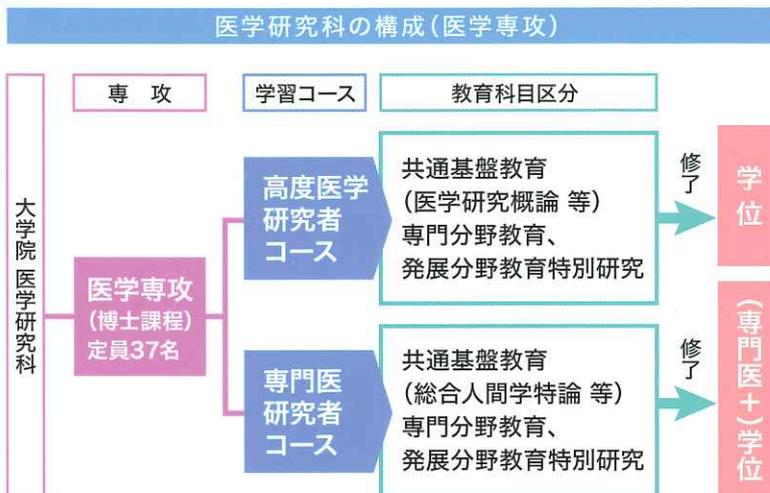
本医学研究科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めています。

- ① 医学・医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- ② 新たな分野に踏み込み、先駆的な研究活動を志す人
- ③ 地域の医学・医療水準の向上を目指し、指導的な役割を担おうとする人
- ④ 大学・研究機関の指導者、研究者として活躍する意欲を持つ人
- ⑤ 医学・医療の分野で、世界に飛躍しようとする熱意を持つ人

### 大学院医学研究科の概要

大学院医学研究科は、医学・医療の発展に自立して寄与することができる研究者及び専門職者を育成するとともに、新しい医学の創造を行うことを目的とします。

大学院では、先進的で高度な医療を実践できる医療人やこれらの医学・医療をリードする研究者を養成・確保しながら、優れた研究成果を県民医療に還元し、本県医療水準の向上と県民の健康増進に一層寄与できるよう、基礎医学と臨床医学の壁を越えた総合的・学際的な教育研究を推進します。



### 医学専攻(博士課程)の概要 修業年数4年

本専攻では、医学部を卒業した学生を中心とし、医学部以外からの学生にも広く門戸を開放して医学を極めることを目的とすることから、専攻の名称を「医学専攻」(Graduate School of Medicine)とし、学位に付与する専攻分野も「医学」とします。

本博士課程に入学する学生は、入学時点で、高度医学研究者コースと専門医研究者コースのいずれかを選択します。

前者のコースは、医学研究者になることを目標とし、将来の医学を支え、新たな医学の創造ができるような人材の育成を目的とします。後者のコースでは、卒後臨床研修を終え、専門医研修を受ける学生を主な対象として、高度で専門的な臨床能力と、医療の現場から研究する能力を兼ね備えた臨床医を育成することを目的とし、そのために必要な科目を整備しています。

## Message

福島で研修しませんか?

### 地域に根ざした医療を継続的に

私は、初期研修医のときにいくつかの診療科で悩んだ結果、病歴聴取や身体診察といった医師の基本をしっかりと学べ、かつ、より将来の選択の幅の広い内科基本コースを選択しました。

卓越した知識と情熱的なマインドを併せ持つ先生が多くいらっしゃる総合内科であらゆる内科に共通する考え方を習得したのちに、各科ローテートで幅広く疾患を経験することで、内科医としての基礎を学んでいます。毎日が新たな学びの連続で、大変充実しております。



将来的には、地域に根差した医療を継続的に提供できるような取り組みをおこないたいと考えており、着実に臨床力をつけられるよう日々邁進してまいります。

専攻医1年次(総合内科) 大須賀 穂高

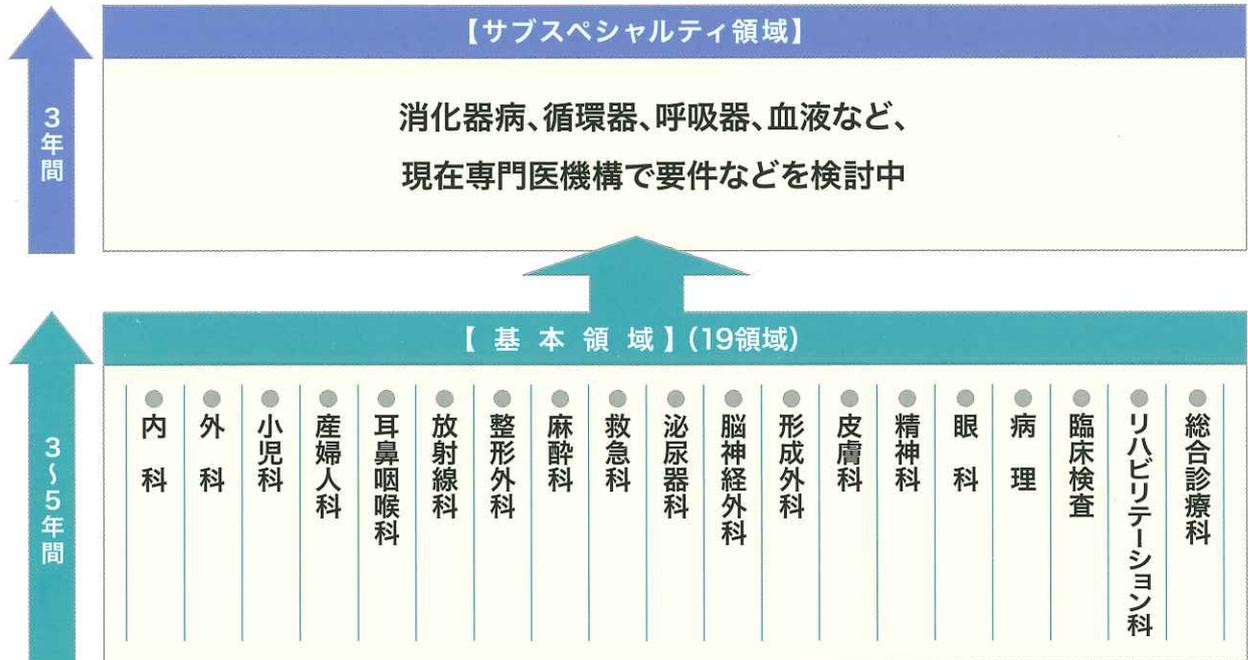




# 新しい専門医制度について — Fukushima Medical University Hospital

福島県立医科大学では、平成30年度からスタートした新たな専門研修において、19全ての基本領域で、基幹施設として基本領域プログラムを運用しています。

当附属病院において専門研修を開始すれば、全ての基本領域・サブスペシャリティ領域の専門医を取得することができる予定です。



※日本専門医機構において、基本領域19専門医制度とサブスペシャリティ領域23専門医制度が認定されていますが、この図のサブスペシャリティ領域は最終決定しているものではありません。

## Message

福島で修得しませんか？

### しっかりとした基礎力を蓄え、世界をめざして活躍する外科医に育て欲しい



外科学部門では7つの診療科(心臓血管外科、消化管外科、肝胆膵・移植外科、呼吸器外科、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科、小児外科)が協力して医学部臨床実習、卒後臨床研修、専門医研修の指導にあたります。さまざまな視点からの外科診療の経験を通して、幅広い知識や診療能力を身につけ、オールラウンドに活躍しながら自分の専門分野を極めるための努力ができる医療人に育て欲しいと思います。

臨床医学教育研修センター 副部長  
医療手技教育研修開発センター長  
外科研修支援担当

教授 木村 隆

### 多種多様で豊富な症例から経験を積み問題解決能力を修得して欲しい



大学の内科専門医研修プログラムでは、必要十分な総合内科的能力を担保しながら将来希望する専門分野に応じて、サブスペシャリティコースを選択し、専門医の取得ができます。そのために、医師としての基礎的な知識を蓄えるだけでなく、多種多様で豊富な症例から経験を積み、問題解決能力を修得していかなければなりません。また、チーム医療として他職種のスタッフとのコミュニケーションも大切です。我々指導医は、研修医である皆さんの成長こそが関心事であり、指導医と研修医の間の温かい人間関係を築きながら、自分の将来なりたい医師像に向かって共に努力し、学んでいけたらと思います。更には学会発表、論文報告などの学術的活動も積極的に参加し、福島から世界に発信してほしいと思います。

消化器内科学講座 講師 阿部 和道



## 1 応募資格

### (1) 医師

医師法第16条の2第1項に規定する2年間の臨床研修を修了予定の方

### (2) 歯科医師

歯科医師法第16条の2第1項に規定する1年間の臨床研修を含め、2年間の歯科医師臨床研修を修了予定の方

※過年度に卒後臨床研修を修了された方の中途編入制度もありますので、(1)(2)以外で、当院での研修を希望する方は、ご相談ください。

## 2 募集人員

90名程度(研修協力病院での採用枠を含む。)

## 3 研修期間

3～5年以内(研修協力病院での研修期間を含む。)

原則として研修期間のうち1年以上は、当院において研修を行います。

## 4 処遇

### (1) 当院

- ① 身分: 専攻医(卒後臨床研修修了後4年経過した方は病院助手)
- ② 職務: 病院における診療業務の他に、臨床研修医の指導補助
- ③ 勤務日数: 月17日以内
- ④ 給与: 月17日勤務で、月額35万円程度になります。
  - a. 給料日額: 15,400円
  - b. 通勤手当
  - c. 超過勤務手当
  - d. 宿日直手当(1回当たり21,000円)

※その他各種業務手当もあります。  
※勤務日以外は一般病院での医療支援(いわゆるアルバイト)が可能です。
- ⑤ 有給休暇: 採用時から5日を付与し、さらに6か月以上の継続勤務の後に5日を付与します。(労働契約期間が1年の場合)
- ⑥ 各種保険完備: 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
- ⑦ 託児所: 24時間保育所を完備・病児病後児保育所も有り

### (2) 研修協力病院

身分・給与等は、各病院の定めるところによります。

## 5 応募手続

### (1) 募集期間(一次募集)※予定

令和3年9月1日(水)～令和3年12月10日(金)【必着】

### (2) 応募書類

次の書類を、郵送(書留郵便)、またはご持参ください。

- ① 令和4年度福島県立医科大学附属病院後期研修願書 [様式1-1]、又は [様式1-2]
- ② 履歴書 [様式2]  
(写真3×4cm、無帽、正面向きとし、3カ月以内に撮影したものを貼付)
- ③ 医師免許証または歯科医師免許証の写し  
※当院で卒後臨床研修を行っている方は、提出不要です。

### 【注意事項】

- ① 願書、履歴書の氏名、生年月日は戸籍のとおり正確に記載してください。署名、押印もれのないように注意してください。
- ② 願書に記入した現住所に変更があった場合、ただちにご連絡ください。

### (3) 専攻医登録システムへの登録

新制度へ応募する場合は、上記(2)の書類に加え、(一社)日本専門医機構(以下「機構」という。)が定める期間(※未定)内に、専攻を希望する基本領域学会(総合診療は機構)のホームページを通じて、専攻医登録システムにより、希望するプログラムへ登録してください。

## 6 選考方法

- (1) 各プログラム責任者等が選考面接を行い、各プログラム研修管理委員会の審議を経て合否が判定されます。
- (2) 選考結果は、(一社)日本専門医機構が運用する専攻医登録システムを通じて本人宛に通知されます。

## ◎ 病院見学のご案内

### ■ 当院では、病院見学を随時受け付けています。

県外臨床研修病院に勤務している初期研修医を対象として、旅費の助成を行っています。

### ◎ 福島県立医科大学附属病院 後期研修ホームページ

<https://www.fmu.ac.jp/home/anzen/kouki/>



提出先・  
お問合せ先

## 福島県立医科大学附属病院

臨床医学教育研修センター 後期研修担当 根本

〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1047(直通) Fax.024-547-1715  
E-mail : cmeccd@fmu.ac.jp